

山口県の 中小企業

SMALL BUSINESS ASSOCIATIONS OF THE
YAMAGUCHI PREFECTURE



特別参加 企業組合燦・燦 (ルルサス防府会場)

表紙写真説明

防府市 鍋-1グランプリ



(天神町銀座商店街振興組合会場)

特集

平成29年度中小企業・中小企業組合関係 税制改正のポイント

- 組合等ニュース紹介
- 景況動向
- シリーズ「ものづくり補助金活用事例紹介」
株式会社ティーワールド
株式会社医療福祉工学研究所
- 平成28年度決算・税務等講習会のご案内
- 平成28年度組合青年部山口県大会
平成28年度次世代育成研修会
のご案内

中小企業・組合を応援します! ~創業・連携・運営を支援~

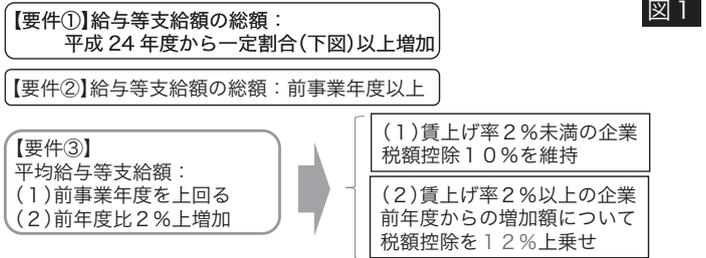
 **山口県中小企業団体中央会**

特集

平成29年度中小企業・中小企業組合関係 税制改正のポイント

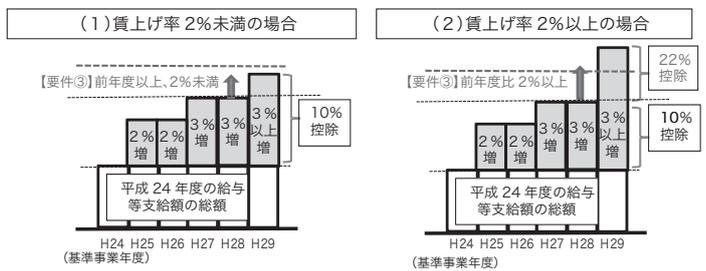
所得拡大促進税制の拡充 → 図1

- 中小企業は、現行の支援措置（平成24年度からの給与増加額10%税額控除）に加え、2%以上賃上げした企業は、**前年度からの給与増加額の22%税額控除**（賃上げに伴う社会保険料負担を上回る控除率）
- 適用期限 平成30年3月31日



サービス業の設備投資減税の対象設備の拡大 → 図2

- 中小企業等経営強化法の認定を受けた事業者が利用できる**固定資産税特例（1/2に軽減）の対象に、商店、飲食店、サービス業等で利用される一定の器具備品（冷蔵陳列棚、業務用冷蔵庫等）、建物附属設備（空調設備、エレベーター等）が追加。**
- 中小企業投資促進税制の上乗せ措置（即時償却等）についても**対象に器具備品等が追加**。名称は中小企業経営強化税制（中小企業等経営強化法の認定が必要）。



<新たに対象となり得る器具備品等の例>

図2



法人税軽減税率の延長

- 協同組合を含めた中小法人の**法人税の軽減税率（所得800万円まで15%に軽減）を2年間延長。**
- 租税特別措置：適用期限 平成30年度末まで

対象	本則税率	租特税率
大法人 (資本金1億円超の法人)	所得区分なし 23.4%	-
中小法人 (資本金1億円以下の法人)	年800万円超の所得金額	-
	年800万円以下の所得金額	15.0%

事業承継税制の雇用要件緩和及び株式の評価方法の見直し → 図3

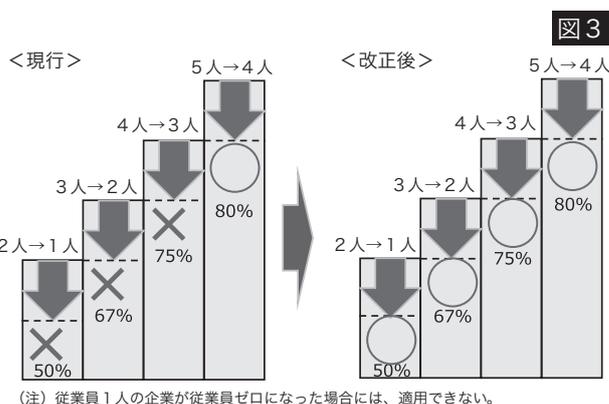
雇用要件の緩和

- 雇用要件（5年間平均8割）について、従業員**5人未満の企業**が従業員1人減った場合、**適用可能**。

■被災や主要取引先の倒産等により売上が減少した場合には雇用要件が緩和。

株式の評価方式の見直し

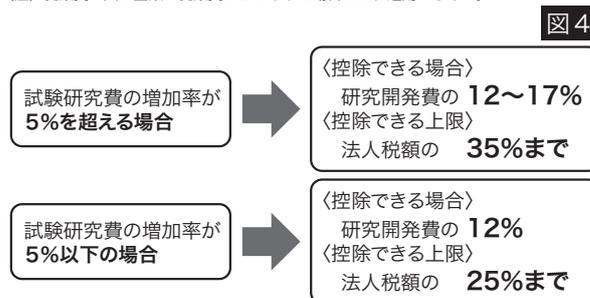
■取引相場のない株式の評価方式について、上場株価の急激な変動等、中小企業の収益の改善を中小企業の株価に過度に反映しないよう、類似業種比準方式等を見直し。



研究開発税制の控除率の引上げ → 図4

■研究開発費の増加率が5%を超える場合、最大17%まで控除割合を上乗せ（※控除の上限について、研究開発費の増加率が5%を超える場合には、10%上乗せ（最大35%まで）。

○ビッグデータ等を活用した第4次産業革命型の「サービス開発」も支援対象に追加。



サービス開発の対象となる事例

自然災害予測サービス

ドローンにより山地の地形や土砂、降雪状況等を収集・分析 → 的確な自然災害予測を提供

農業支援サービス

センサーにより農地の温度や湿度等を細かく収集・分析 → 効果的な農作業情報を配信

ヘルスケアサービス

ウェアラブルデバイスにより個人の健康状態を細かく収集・分析 → 健康維持サポート情報を配信

観光サービス

ドローンや人工衛星により自然界や生態系情報を細かく収集・分析 → 観光情報（必ずオーロラやクジラが見れる等）を配信

配偶者控除の見直し

■所得控除額38万円の対象となる配偶者の給与収入金額の上限を150万円（合計所得金額85万円）に引上げ。控除額は逡減し、配偶者の給与収入金額約201万円（合計所得金額123万円）で消失。

■納税者本人に所得制限を導入。給与収入金額1,120万円（合計所得金額900万円）で控除額が逡減を開始し、1,220万円（合計所得金額1,000万円）で消失。

その他

- 中小企業投資促進税制適用期限の延長（適用期間：平成30年度末まで）
- 商業・サービス業等活性化税制の適用期限延長（適用期間：平成30年度末まで）
- 地域未来投資促進税制の創設
- 協同組合貸倒引当金特例の延長（適用期間：平成30年度末まで）
法定繰入率による算出は維持。繰入限度額が10%増しに引下げられた上で、適用期限を2年間延長。
- 協同組合等受取配当金益金不算入の特例創設
配当等の額のうち、益金の額に算入しない金額は、その出資保有割合にかかわらず、その配当等の額の100分の50相当額。
- 車体課税見直し



上記内容平成29年度税制改正大綱も収録!!
「中小企業組合関係税制のあらまし」（平成29年2月発行予定）
 全国中小企業団体中央会 編集・発行 定価1,200円+税（送料別）

※平成29年3月3日金開催の「決算・税務等講習会」で解説があります。

『衛生管理』の徹底！講習を開催

山口県パン工業協同組合
(理事長 松村 豊)

12月10日(土)、山口グランドホテルにおいて衛生管理を徹底するための講習会を開催し、山口県環境生活部生活衛生課主任林宏美氏より「食中毒防止と衛生管理」、また、主査辻谷淳氏より「HACCP方式による衛生管理」について聴講し知識を深められました。

松村理事長は、「消費者から安心安全を特に求められる業界であるため今までも衛生管理の徹底に努めてきたが、更に求められています。最近、ノロウイルスによる感染性胃腸炎が大流行しているので、手洗いと健康管理を徹底したい。」と認識を新たにされました。



コーチの心得と退会の防止を考える

山口県スイミング事業協同組合
(理事長 中村 光宏)

12月12日(月)、山口県セミナーパークにおいて「コーチの心得と会員退会の防止」をテーマに本会の組合等活性化支援事業を利用し研修会を開催されました。講師の有限会社ケイ・アンド・ワイ 人材育成部門主任講師 温品富美子氏からは、①信頼される人②安心感を与える人③広い視野でものごとを考える人④「あの人のようになりたい」と思われる「モデル」となる4点がコーチの心得との話があり、その後、グループに分かれ、会員の退会防止をテーマにワークショップを行いました。

中村理事長は、「クラブを退会することは、そのスイミングクラブがもう要らないと言われたことと同じ、社会に役立つために一層のサービスの向上が必要である。」と話されています。



熊本地震災害ボランティア

防府鉄工業協同組合
(村田株式会社 代表取締役社長 村田 真美)

4月の発災時より、やみ雲に動いてもかえって迷惑になると思い、支援物資を何度かに分けて各種団体にゆだねました。発災から1ヶ月経過した現地の被災状況を目の当たりにした時には、自分が想像した以上の被害の深刻さに驚愕しました。12月までは月1回赴き被災家屋の片づけをしましたが、現在は、プロの方々が家屋解体等をされています。

被災家屋に関する活動に並行して、多くの被災農家の生活再建と農作業の両立を手助けするために、夏以降は里芋やからいもの収穫作業もお手伝いしております。今まで延べ44日余りにわたりボランティア活動をしてありますが、これからも続けていく予定です。



山口県と「被災住宅の応急修理協定」を締結

山口県管工事工業協同組合
(理事長 弘田 壽男)

当組合は関連団体とともに、1月17日(火)、県庁において、「災害時における木造応急仮設住宅の建設等に係る協定」を山口県と締結しました。

この協定の趣旨は、昨年4月に発生した熊本地震の教訓を踏まえ、災害時の生活再建に向け、災害救助法に基づく応急仮設住宅の建設や住宅の応急修理に関する支援体制を強化するため、地元の5団体と協定を締結するものです。

これにより、県(委任を受けた全市町)としては、住宅の応急修理の事業者選定や発注の迅速化が図られ、組合としても、居住のため必要最小限度の部分を応急的に補修し、被災住民の居住環境を確保する支援が可能となります。

木造応急仮設住宅の建設及び住宅の応急修理



専門工事業関連組合懇談会を開催

本会では、昨年11月29日に山口市で、専門工事業関連6組合を対象に、建設業における現状や課題、諸問題について協議し、その解決方策等について検討する「専門工事業関連組合懇談会」を開催しました。

出席者からは、「技能労働者の不足による建設就業者の高齢化の進行、後継者不足による組合員の減少、若手職人や若手技能者などの人材の育成・確保方法など」の課題が上げられ、活発な意見交換がなされました。

出席者からの貴重な意見等については、本会事業等で反映してまいります。



「輝く女性管理職ネットやまぐち」企画発表会

1月20日(金)、「輝く女性管理職ネットやまぐち」(山口県が平成28年創設)の企画発表会及び意見交換会が山口県庁において開催され、中央会会員の組合関係事業所からは2名が参加されました。

企画発表会では、山口県内の事業所で管理職として働く女性18人が働く女性の現状を分析し、女性が活躍するために必要なサポートや行政に対する提言等を取りまとめ、3グループに分かれ村岡知事を前に発表し、その後、知事を囲んで意見交換をしました。

村岡知事からは「新しい情報や視点が得られました。県も働きやすい環境整備に取り組むので、皆さんも『山口県で活躍するモデル』となってほしい。」とのお話がありました。

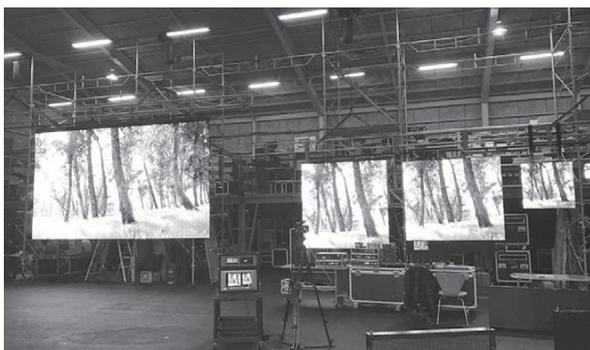


中国ブロック中央会で「ものづくり企業」を視察

平成28年12月12日に下関市で、中国ブロック中央会の情報化担当指導員が一堂に集まり、情報関係支援の現状や課題について協議し、その解決方策等について意見交換をする「中国ブロック指導員研究会」を開催しました。中国ブロックの現状や課題として、組合事務局のIT化の遅れ、中央会自体の情報セキュリティ対策、中央会指導員のスキル向上等について意見交換をしました。

また、ものづくり補助金を活用されている情報分野の先進事例2社の取組みを紹介しました。

まず、株式会社ニュージャパンナレッジ取締役笹原宏文氏より、介護関係のものづくり補助金の取組み、目の不自由や方向けに開発している歩行補助システムや、農業をIT化するマイファーム、写真を撮った場所を地図上に記録するマイマップ、ドローンの取組み、NEDOで採択された事業についての発表がありました。



次に、株式会社ストロベリーメディアアーツ代表取締役林由美子氏より、LEDを活用したスクリーンの研究開発が始まった経緯や中国の台頭、ものづくり補助金の取組み、3.11の震災で賑やかな演出が控えられ苦境に陥ったこと、やまぐち国体で救われ、今後は東京オリンピックに向けて期待していること他の紹介がありました。

翌日はこの関連会社である株式会社エス・エム・エイを訪ね、LEDディスプレイの製品推移や最新鋭の機器等の実物でのデモンストレーション等を視察しました。

月次景況調査結果

平成28年12月期

※DI値(前年同月比) = 増加・好転組合割合 - 減少・悪化組合割合
 (表については、情報連絡員60名の他に、中央会が聞き取り等で集めた20組合のデータが加算されています。)

業種別の景況

12月の業種別景況の前月比DI値は、14業種の中で3業種が好転、前月同等が10業種、悪化が1業種で、全体の景況感も前月比で若干好転している。

一般機器で受注の好転が見られ、輸送機器では堅調な生産がなされているほか、サービス業で売上の増加の報告があるが、依然として人員・人材不足も続いている。

また、プレミアム商品券の効果は小売業や商店街によって様々である。

年末の一時的に多忙な業種も見られるが、先行きについては注視していく必要がある。

	業 種	前年同月比	前月比
製 造 業	食 料 品	☂	→
	織 維 工 業	☔	→
	木 材 ・ 木 製 品	☂	→
	印 刷	☂	→
	窯 業 ・ 土 石 製 品	☔	→
	一 般 機 器	☁	↗
	輸 送 機 器	☀	→
非 製 造 業	卸 売 業	☁	↗
	小 売 業	☂	→
	商 店 街	☂	→
	サ ー ビ ス 業	☁	↗
	建 設 業	☁	↘
	運 輸 業	☔	→
	そ の 他	☁	→

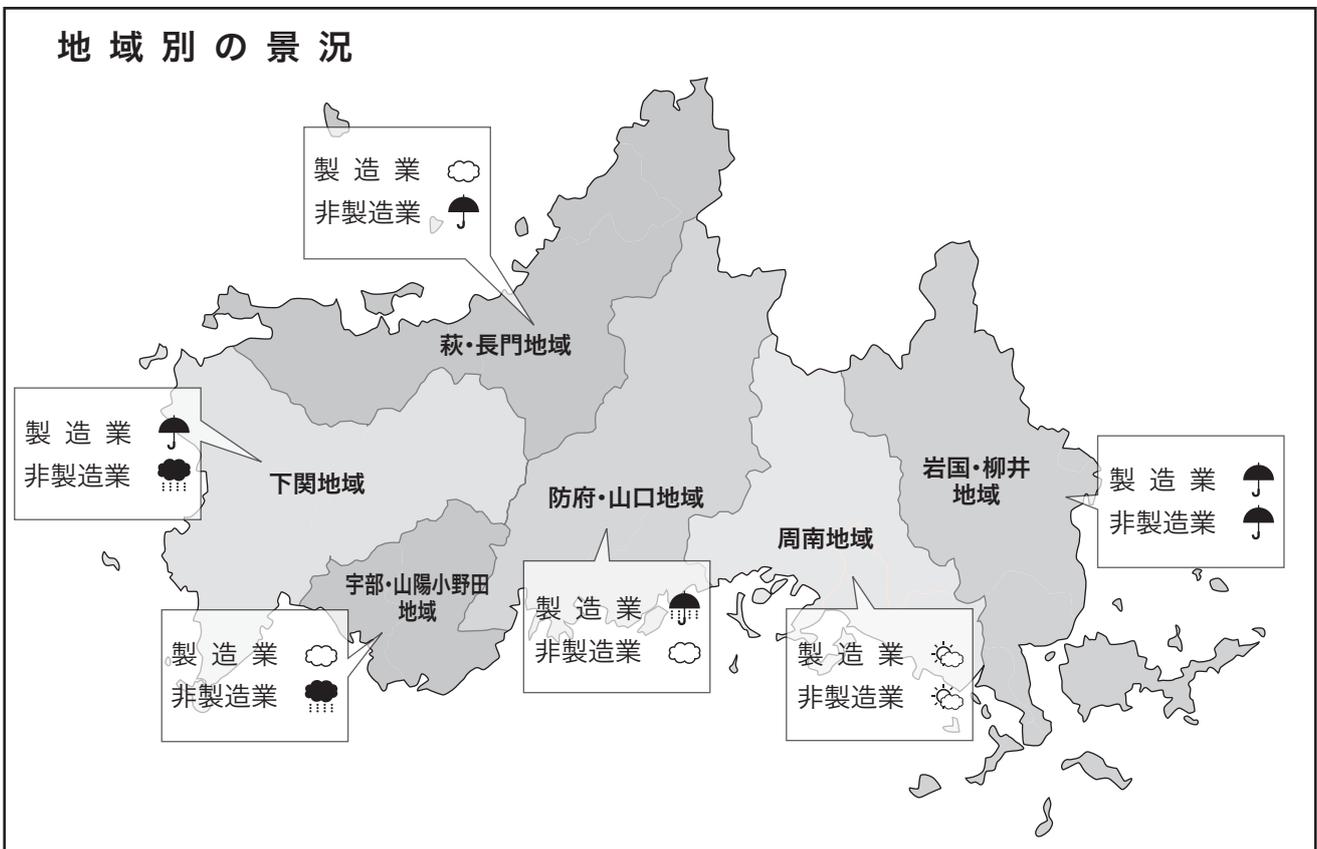
DI値

30以上 ☀ -30以上-10未満 ☔

10以上30未満 ☁ -50以上-30未満 ☂

-10以上10未満 ☁ -50未満 ☔

地域別の景況



情報連絡員報告

平成28年12月期

地区・業種を代表する県内組合の役職員60名の方から、毎月、業界の景況動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

また、中央会ホームページ (<http://axis.or.jp/>) の「月次景況調査」にも掲載していますのでご活用下さい。

製 造 業	食料品	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ クリスマスケーキの売行きは低調。コンビニのパワーに押され気味であった。 (パン・菓子製造業) ○ 売上高は対前年同月比▲15%。平成29年は大河ドラマ効果も無くなり、競合する道の駅が2つオープンするため厳しくなると予想している。 (水産食料品製造業)
	繊維工業	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4月末までの受注量があり今のところは許容範囲。地元求人雑誌で求人をしており、問合せが数件あったが採用には至らなかった。 (下着類製造業) ○ 晴れ着が売れず、特に紳士服が売れない状況である。物は購入せず貯蓄をしている模様で、店頭販売が不振である。 (外衣・シャツ製造業)
	木材・木製品	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 売上高、設備操業度が11月同様に微増している。 (下関市)
	印刷	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各社とも例年並みの受注量は確保できたようだが、年末年始の折込むチラシの締日が早くなっているため、各社対応に苦慮している。 (下関市)
	窯業・土石製品	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昨年に比べて一気に出荷数量が減っている。来年まで続くと思われる。雇用人数が1名増。 (碎石製造業) ○ 平成28年はうろう年で、受注・販売ともに大変厳しかった。受注数量が僅かであるため、平成29年分をやりかけている業者もある。 (石工品製造業)
	一般機器	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 金型関係は平成29年3月頃までは順調な模様。海外工事関係の受注も好転してきている。組合全体も、景気はプラス傾向の印象である。 (防府市) ○ 平成29年3月までの仕事は確保できており、12月の設備操業度も上昇し残業で対応している。成形製品の生産設備稼働率、受注状況ともに前年同時期よりは増加傾向にあるが、民生部品(家電部品、電子部品)など製品毎の受注量の変動が大きく先が読みにくい状況が続いている。 (特殊産業用機械製造業)
	輸送機器	☀	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鉄道車両部門は長期計画に沿って順調な生産高を維持しており、平成30年までは高水準が見込め、消化するための対策が課題となる見通し。精密加工部門は年明けから生産に陰りが出ると予想されている。 (鉄道車両・同部品製造業)
非 製 造 業	卸売業	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成27年の深刻な品薄に比べると平成28年は品物があるのでその分好転している。一時的なものであるが繁忙である。 (生鮮・魚介卸売業) ○ 天候不順により、年末商品の荷動きが鈍い。原油減産による燃料価格の変動が収益に影響しそうである。 (各種商品卸売業)
	小売業	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎年この時期にメーカーの売上コンテストがあるが、仕入は増加、売上は悪化等で厳しい状況となっている。 (化粧品小売業) ○ 冬の定例イベントとプレミアム商品券などが少したが売上に繋がったと思われる。全体的には少し好転に見えるが、1月の反動が気なる。 (各種商品小売業)
	商店街	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ プレミアム商品券利用に伴う追加の消費はあまり見られなかった。野菜の価格高騰も影響し活発な消費とはなっていない。円安や石油製品の値上げの動きもあり先行きが暗い。 (山口市)
	サービス業	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 店頭販売となると財布のひもは固いが、中旬以降、来店客が増え朝から忙しくしている。前年の年末商戦よりも景気は良く、利益も上がった模様。 (美容業) ○ 山口県内の11月における登録自動車と軽自動車の継続検査台数が、対前年同月比で116.7パーセントと大きく伸びた。 (自動車整備業)
	建設業	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年末でも忙しくない事業所が多くなっている。1年余り前より工事量が減少している。 (左官業) ○ 地区で受注工事量に差があるが、年度末が近づき人員不足の中で忙しくなっている。工事量が今まで少なかったため人員不足でも賄えてきたが、災害等の工事発注があった場合は人手不足で対応出来ない可能性がある。 (土木工事業)
	運輸業	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 長距離輸送はドライバー不足で車両が不足したが、中近距離輸送は順調。同一賃金等々、中小企業零細運送業にとっては厳しい条件ではあるが、これを遵守するには、大手企業荷主の理解が不可欠である。 (一般貨物自動車運送業) ○ 前年に比べ売上が10%近く増えている。観光の増加とプーチン大統領来日のニュース取材等が要因と思われる。 (一般旅客自動車運送業)
	その他	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安定した取引が続いている。 (介護事業)

シリーズ『ものづくり補助金活用事例紹介』 その41

『IT車両診断機の導入による「状態の見える化」車検及び車両整備事業』

(形態) 新規顧客層への展開
 (対象類型) 革新的サービス一般型
 (事業類型) 試作開発+設備投資
 (会社概要) 平成10年創業。代表は元プロのGTレーシングドライバー。プロの乗り手目線での精緻な検査・調整の自動車整備技術は評価が高く他の事業者との差別化している。国産自動車・輸入車・逆輸入車整備に熟練しており、ユーザーからの依頼のみならず、地域のディーラーからの依頼も請け負っています。近年進化が激しい自動車整備技術にハード面ソフト面にも対応しており、業界の進化とともに成長しています。

(事業概要) 各自動車メーカー個々に対応したIT車両診断機を導入することで、点検項目のデータを全て見える化し、車両の状態を顧客と共有することで一般車検サービスと明確に差別化。顧客満足度を向上させると共に、作業効率を向上させ収益力の強化を図りました。

診断機ごとに使用方法が異なるため、それぞれに対してトレーニングを行い、従来の整備時間の大幅短縮に成功しました。

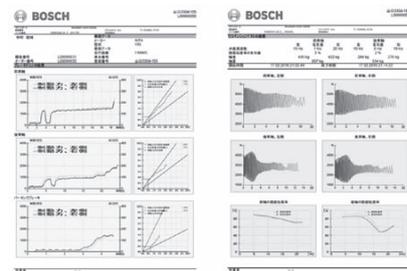
日本の一般ユーザーの安全性に対する意識はメーカー依存であり、点検・整備結果に意識が低く、点検結果の「見える化」の重要性に気付いていません。一般顧客に対して一定の安全意識を理解してもらう活動として地域のイベントに積極参加、セミナー等の活動を通じて周知を行っていく予定です。
 また、IT化・電子化が遅れている同業者への診断装置の拡販および使用方法をレクチャーする事業も計画しており、大手ディーラーが手を出せない新たな付加価値サービスを提供する整備事業者向けコンサルタント事業実施を目指しています。



代表取締役
藤田 隆之氏

株式会社ティーワールド

〒745-0026 周南市住崎町8番10号
 TEL: 0834-22-0955 FAX: 0834-22-0965
 URL: <http://www.donel.jp/about.html>



データ化・グラフ化した診断カルテ

シリーズ『ものづくり補助金活用事例紹介』 その42

『寝息を計測することで睡眠状態をモニタリングできる睡眠ヘルスケアシステムの試作開発』

(技術分野) サービス化
 (類型) 試作開発のみ
 (形態) 組込ソフトウェア 他
 (会社概要) 平成16年創業。山口大学工学部の医療福祉部会を母体とし、民間企業出身者と大学教授が役員を務める産学連携ベンチャー。IT技術や産学連携による人的ネットワークに強みを持ち、遠隔読影事業、福祉機器事業、組込教育事業、医療製品事業を展開しています。

(事業概要) 本事業は、録音した寝息から呼吸または呼気のリズムと深さを解析し、低呼吸や無呼吸の症状を検出することによって、睡眠状態をより高度に解析・評価できる睡眠健康管理システムを構築するため、睡眠時無呼吸症候群などを解析・検出するソフトウェアと寝息計測用のデバイスの試作・開発を行うものです。
 以上により、病理検査において、対象者の拘束時間や検査結果判明までの期間の短縮、肉体的・精神的負担の軽減等について一定の成果を得ることができ、費用負担についても大幅に下げることができると考えています。

現在のところは、機器の操作に習熟を要し集音環境の整備等が必要であり、操作の簡略化や機器の精度向上が今後の課題となっています。今後は本事業で試作・開発したシステムを基に、さらなる動作検証とデータ収集を行い、事業化に向けた作業を加速化する予定です。
 現時点で有望と思われる市場は、運輸業界におけるドライバーのスクリーニング検査、在宅医療での状態モニタリング市場、介護現場での介護者疲労モニタリング及び被介護者見守りサービス等であり、今後はこれらの市場のニーズを深掘りするため、システムの改良・追加開発を行う予定です。



代表取締役社長
平光 誠氏

株式会社医療福祉工学研究所

〒755-8611 宇部市常盤台2丁目16番1号
 山口大学ビジネス・インキュベーション207
 TEL: 0836-35-1354 FAX: 0836-35-1354
 URL: <http://www.ibmw.co.jp/>



睡眠ヘルスケアシステム

平成28年度決算・税務等講習会

1. 目的 組合の役職員や経理担当者等が組合の決算手続きや税務申告書の作成等について学び、決算・税務知識等を習得する。
2. 日時 **平成29年3月3日(金)** 10:30~12:30 基礎編
13:30~16:30 応用編
3. 場所 山口市小郡ふれあいセンター2F 集会室
(山口市小郡下郷144-1 ☎083-973-0003 *駐車場あり)
4. 講師 税理士法人塩見会計事務所 税理士 重村和雄 氏
5. 日程及び内容
 - 10:30~12:30 ・決算整理、決算関係書類の作成方法や留意点
 - ①事業報告書、②財産目録、③貸借対照表、④損益計算書、
 - ⑤剰余金処分案及び損失処理案
 - ・脱退者の持分の払戻方法、組合特有の経理処理等
 - 13:30~16:30 ・平成29年度税制改正のポイント、知っておきたい税務の基本事項や消費税
 - ・組合特別税制
 - ①利用分量配当の損金算入、②賦課金の仮受金経理
 - ・組合税務申告書の基本的な作成手順（法人税等の申告書記載と税額の計算）等
6. 対象者 組合役職員や組合経理担当者等（定員60名）
7. 受講料 1人1,500円（当日、受付で申し受けます。）
8. 持参物 電卓、筆記用具をご持参ください。

安心
安全

国がつくった

小規模企業共済

こんな悩みにお応えします

年金だけでは不十分で、
不安がある

自分で積み増しするには、
どんなものがあるの？

退職金の準備を
中小機構が
お手伝いします

制度の特長

① 経営者のための 退職金制度

小規模企業の個人事業主(共同経営者を含む)または会社等の役員の方が廃業や退職後の生活資金、事業再建資金をあらかじめ準備しておく共済制度です。

② 掛金は 全額所得控除

掛金は、全額が「小規模企業共済等掛金控除」として、課税対象所得から控除できます。

③ 受取時も 税制メリット

共済金の受取は、一括の場合は「退職所得扱い」、分割の場合は「公的年金等の雑所得扱い」です。

 中小機構

TEL:050-5541-7171
(共済相談室)

小規模企業共済

検索

www.smrj.go.jp/skyosai



まらり★ 人材レター

2017
Feb



赤帽山口県軽自動車運送協同組合
藤井啓子さん 松尾昭夫理事長 出羽憲子さん

本会情報誌を毎月会員の皆様へお届けしていただいている赤帽山口県軽自動車運送協同組合の松尾昭夫理事長にお話を伺いました。「組合員の高齢化、引退が進むなか受注は増えており、忙しさに拍車がかかっています。最近では通常の配送に加え、血液輸送や特定信書便、ハンドキャリアといった形態での運送も行っています。他の業界と同じく人手不足の状態が続いており、若手の育成を十分行える仕組みをつくり、組合加入の魅力向上と荷主の信頼に応えることに取り組んでいます。」

松尾理事長はお正月などの休みでも緊急の仕事に備えているため、まとまった休みも取りづらく、趣味の旅行やカメラもこのところではできないとのこと。「組合員の皆さんが十分な利益と忙しいなかでもリラックasできる時間がとれるよう組合活動を強化していきたい。」と話されています。

☆赤帽山口県軽自動車運送協同組合
 〒754-0896 山口市江崎3643
 ☎ 083-989-4855 FAX 083-989-4866
 ホームページ：http://yamaguchi.akabou.jp/

平成28年度組合青年部山口県大会 (平成28年度次世代育成研修会)

組合青年部員及び青年部未設置組合の若手経営者・後継者が一堂に会し、青年部間の相互啓発、連携強化並びに青年部活動の普及を図る。

【日時】 平成29年 2月24日(金) 14:30～

【会場】 「下関春帆楼本店」
 (下関市阿弥陀寺4-2 ☎ 083-223-7181)
 ホームページ <http://www.shunpanro.com/>

【参加料】 懇親会費 1人 6,500円
 お手数ですが参加人数分を事前に下記口座へお振り込み下さい。
【振込先】 西京銀行 山口支店 (普) 0302660
 山口県中小企業団体中央会青年部

【主催】 山口県中小企業団体中央会
 山口県中小企業団体中央会青年部

大会テーマ 点から線 線から面へ ひろげていこう 青の力

【内容】

14:30 開会

14:45～15:15 青年部活動事例発表
 「印刷業界の活性化へのチャレンジ！」山口県印刷工業組合青年部
がんばる地域の企業連携事例
 「下関うにの知名度向上への取り組み」 山口県うに協同組合

15:30～17:00 講演
 「輝ける未来のための人づくり～人材育成が組織活性化の根っこ～」
 有限会社エイ・エル・ピー 代表取締役社長 八尾 稔啓

17:30～19:30 **ビジネス交流懇親会** (講師・事例発表者も参加される予定です)

山口県中小企業団体中央会

〒753-0074 山口市中央4丁目5番16号
 山口県商工会館6階

☎ 083-922-2606 Fax 083-925-1860
 HP <http://axis.or.jp/>

印刷製本 株式会社 桜プリント社